

2024年4月24日
株式会社アイスタット
News Release

株式会社アイスタット マンスリーレポート

- 犬派 or 猫派に関するアンケート -

(調査期間：2024年4月11日)

「犬と猫、どちらが好き？」という議論は誰もが経験したことがあろう永遠のテーマ。

株式会社アイスタット（本社：東京都杉並区、代表取締役社長：志賀保夫）は、犬派 or 猫派の実態および犬派 or 猫派の違いは何かを調べるために、犬派 or 猫派に関するアンケート調査を実施しました。

本調査は、業界最大規模のモニター数を誇るセルフ型アンケートツール「Freeasy」を提供するアイブリッジ株式会社（本社：大阪府大阪市）の会員 20 歳～69 歳を対象に調査を実施しました。

調査結果サマリー

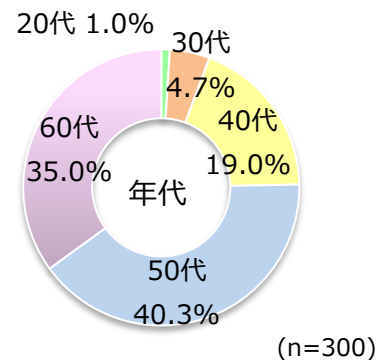
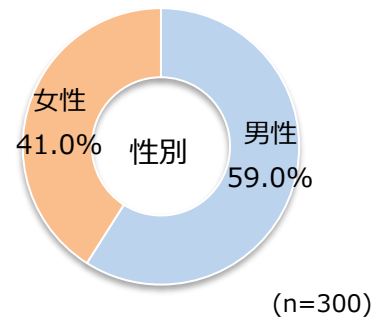
- ✓ 犬が好きな人は54.3%で半数を超える！ 猫が好きな人は48.3%で半数を下回る！
- ✓ 「犬の方が好きな人（犬派）」は5割、「猫の方が好きな人（猫派）」は約4割！
究極の選択：犬派 or 猫派【二択チャレンジ】は、「犬派」に軍配が上がる！
- ✓ 犬の方が好きの決め手は「人懐っこさ」、猫の方が好きの決め手は「かわいらしさ」が最多！
- ✓ 犬と猫の両方を飼ったことがある人の【犬派 or 猫派】は、「猫派」に軍配が上がる！
- ✓ 好きな「犬」のキャラクターがある人は「犬派」、好きな「猫」のキャラクターがある人は「猫派」の傾向
- ✓ 犬派の人の性格の傾向は、アクティブで協調性・仲間意識・交流感が強い！
猫派の人の性格の傾向は、寂しがり屋で、甘えるのが好き！
- ✓ 「犬か猫の顔の絵を描いてください」と言われて描くのは、「犬の顔」の方が多い！
- ✓ 回答者全体で約8割の人が「ペットは家族の一員」と思っている！

調査概要

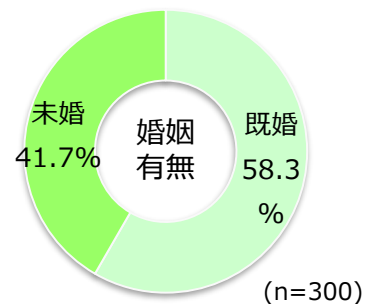
形式	Webアンケート形式
調査期間	2024年4月11日
回答者	セルフ型アンケートツールFreeasyに登録している20歳～69歳の会員300人
調査機関	株式会社アイスタット

【回答者属性】

全体		300名	100.0%
性別	男性	177名	59.0%
	女性	123名	41.0%
年代	20代	3名	1.0%
	30代	14名	4.7%
	40代	57名	19.0%
	50代	121名	40.3%
	60代	105名	35.0%
有 婚 無 姻	未婚	125名	41.7%
	既婚	175名	58.3%
居 住 地	北海道・東北地方	31名	10.3%
	関東地方	111名	37.0%
	中部地方	52名	17.3%
	近畿地方	59名	19.7%
	四国・中国・九州地方・沖縄	47名	15.7%
職 業	会社員(正社員)	95名	31.7%
	会社員(契約・派遣社員)	23名	7.7%
	経営者・役員	9名	3.0%
	公務員(教職員を除く)	7名	2.3%
	自営業	23名	7.7%
	自由業	8名	2.7%
	医師・医療関係者	3名	1.0%
	専業主婦	43名	14.3%
	パート・アルバイト	40名	13.3%
	無職	45名	15.0%
	その他	4名	1.3%



平均年齢 (55才)



主な分析結果

犬が好きな人は54.3%で半数を超える！ 猫が好きな人は48.3%で半数を下回る！

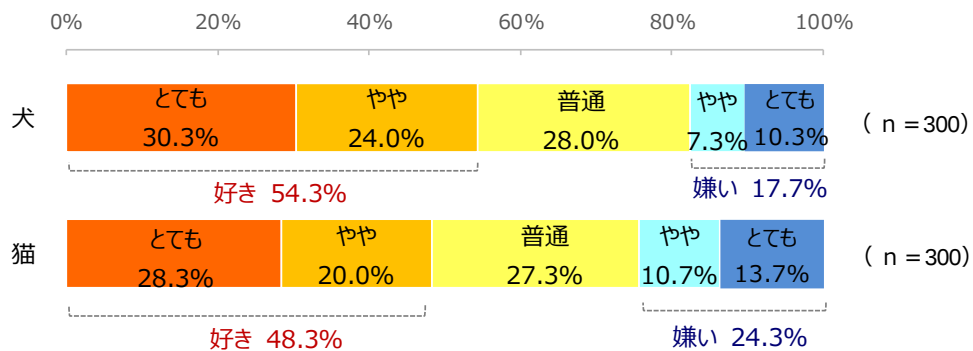
「犬」が好きかを聞いたところ、「好き」が54.3%で最も多く、次に「普通」の28.0%、「嫌い」の17.7%と続いた。これより、犬が好きな人は半数を超えることが明らかとなった。

「猫」が好きかを聞いたところ、「好き」が48.3%で最も多く、次に「普通」の27.3%、「嫌い」の24.3%と続いた。「好き」が最も多かったものの、半数を下回る結果であった。

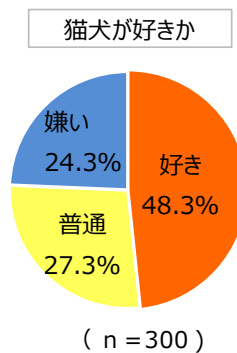
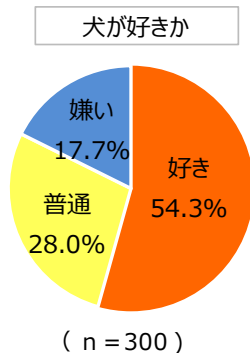
属性別でみると、「犬が好き」「猫が好き」を回答した人は、いずれも「40代以下」「女性」「未婚」「四国・中国・九州地方・沖縄」で最も多かった。

【Q1】あなたは犬が好きですか。（回答は1つ）

【Q2】あなたは猫が好きですか。（回答は1つ）



統合



(横%表)

		犬が好きか			n
		好き	普通	嫌い	
全体		54.3	28.0	17.7	300
年代	40代以下	60.8	23.0	16.2	74
	50代	53.7	27.3	19.0	121
	60代	50.5	32.4	17.1	105
性別	男性	54.2	28.2	17.5	177
	女性	54.5	27.6	17.9	123
婚姻有無	未婚	57.6	23.2	19.2	125
	既婚	52.0	31.4	16.6	175
居住地	北海道・東北地方	48.4	19.4	32.3	31
	関東地方	57.7	24.3	18.0	111
	中部地方	51.9	34.6	13.5	52
	近畿地方	49.2	33.9	16.9	59
	四国・中国・九州地方・沖縄	59.6	27.7	12.8	47

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		猫が好きか			n
		好き	普通	嫌い	
全体		48.3	27.3	24.3	300
年代	40代以下	54.1	31.1	14.9	74
	50代	52.1	23.1	24.8	121
	60代	40.0	29.5	30.5	105
性別	男性	45.8	31.1	23.2	177
	女性	52.0	22.0	26.0	123
婚姻有無	未婚	46.4	24.8	28.8	125
	既婚	49.7	29.1	21.1	175
居住地	北海道・東北地方	45.2	12.9	41.9	31
	関東地方	52.3	23.4	24.3	111
	中部地方	46.2	34.6	19.2	52
	近畿地方	42.4	32.2	25.4	59
	四国・中国・九州地方・沖縄	51.1	31.9	17.0	47

各項目を縦に見て最大値に彩色

▼独立性の検定 (カイ2乗検定)

	p 値	判定	相関
年代 × 犬	0.644	[]	0.065
性別 × 犬	0.992	[]	0.007
婚姻有無 × 犬	0.291	[]	0.091
居住地 × 犬	0.356	[]	0.121

↑
クラメル連関係数

▼独立性の検定 (カイ2乗検定)

	p 値	判定	相関
年代 × 猫	0.089	[]	0.116
性別 × 猫	0.218	[]	0.101
婚姻有無 × 猫	0.297	[]	0.090
居住地 × 猫	0.180	[]	0.138

↑
クラメル連関係数

独立性の検定 (カイ2乗検定)

クロス集計を行った結果が、母集団においても関連性があるといえるかを調べる。

判定[*]は、母集団に関連性があるといえる。

クラメル連関係数 (相関)

行項目と列項目の関連の強さを示す指標で、0.1以上は2項目間に相関 (関連) があるといえる。

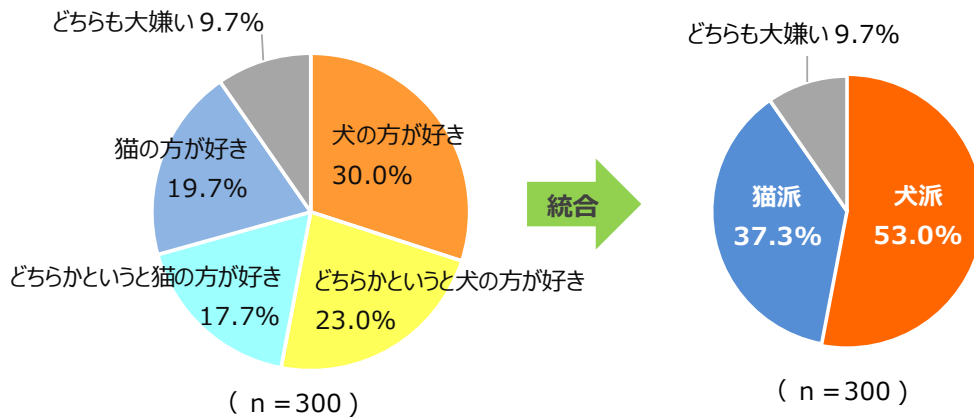
「犬の方が好きな人（犬派）」は5割、「猫の方が好きな人（猫派）」は約4割！

究極の選択：犬派 or 猫派【二択チャレンジ】は、「犬派」に軍配が上がる！

「犬」と「猫」のどちらが好きか（究極の選択：犬派 or 猫派【二択チャレンジ】）を聞いたところ、「犬の方が好き（犬派）」が53.0%、「猫の方が好き（猫派）」が37.3%で、「犬派」が「猫派」より15.7ポイント上回った。その一方、「どちらも大嫌い」が9.7%いることも明らかとなった。ここ数年はテレビや雑誌などで猫ブームが多く取り扱われているため、猫が優勢かとも思ったが、今回の調査では「犬派」に軍配が上がった。

属性別でみると、「犬の方が好き（犬派）」は「60代」「男性」「未婚」「近畿地方」で多く、「猫の方が好き（猫派）」は「50代」「女性」「既婚」「中部地方」で多かった。

【Q3】あなたは犬と猫、どちらが好きですか。（回答は1つ）



(横%表)

		犬と猫どちらが好きか			n
		犬派	猫派	どちらも大嫌い	
全体		53.0	37.3	9.7	300
年代	40代以下	52.7	37.8	9.5	74
	50代	48.8	41.3	9.9	121
	60代	58.1	32.4	9.5	105
性別	男性	55.4	35.6	9.0	177
	女性	49.6	39.8	10.6	123
婚姻有無	未婚	56.0	32.8	11.2	125
	既婚	50.9	40.6	8.6	175
居住地	北海道・東北地方	48.4	32.3	19.4	31
	関東地方	51.4	38.7	9.9	111
	中部地方	50.0	44.2	5.8	52
	近畿地方	57.6	35.6	6.8	59
	四国・中国・九州地方・沖縄	57.4	31.9	10.6	47

各項目を縦に見て最大値に彩色

▼独立性の検定 (カイ2乗検定)

クラメル
関係係数

	p値	判定	相関
年代	0.708	[]	0.060
性別	0.612	[]	0.057
婚姻有無	0.356	[]	0.083
居住地	0.600	[]	0.103

犬の方が好きの決め手は「人懐っこさ」、猫の方が好きの決め手は「かわいらしさ」が最多！

「犬の方が好き（犬派）」または「猫の方が好き（猫派）」を回答した人に決め手となった理由を複数回答で聞いた。

▶ 「犬派（159名）」の決め手となった理由の第1位は「人懐っこさ（66.7%）」、第2位は「忠誠心（40.3%）」、第3位は「かわいらしさ（37.1%）」であった。

「猫派（112名）」の決め手となった理由の第1位は「かわいらしさ（52.7%）」、第2位は「見た目（42.9%）」、第3位は「しぐさ（36.6%）」であった。

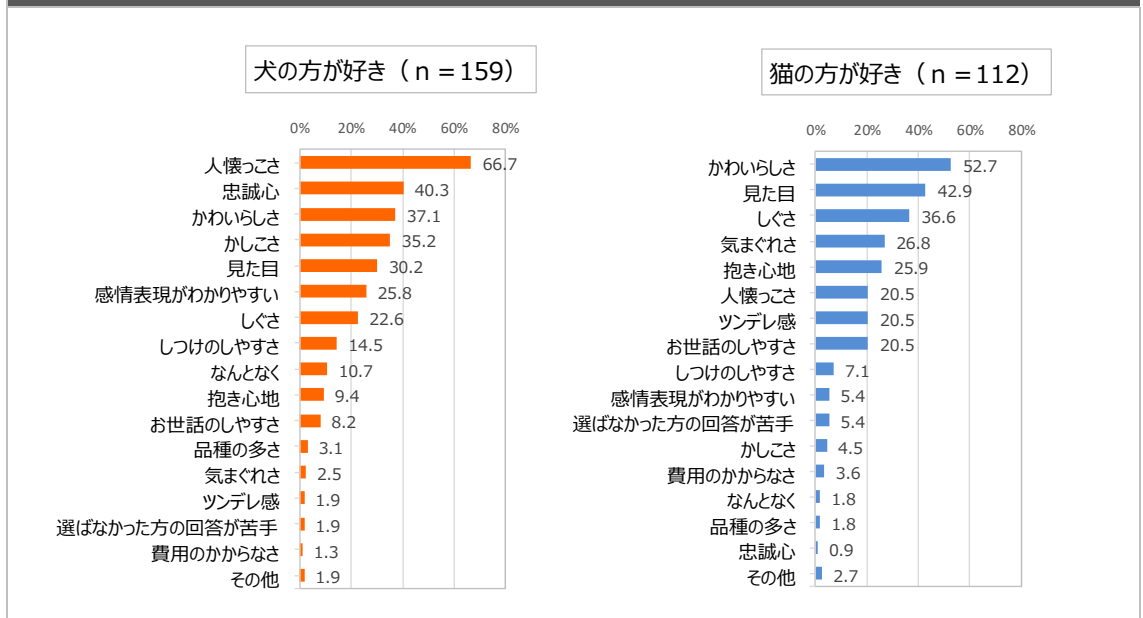
これより、犬派と猫派では上位の内容が異なることが明らかとなった。

▶ 「犬派 or 猫派」別にみると、「犬派」の方が「人懐っこさ」「忠誠心」「かしこさ」「感情表現がわかりやすい」「しつけのしやすさ」「なんとなく」「品種の多さ」の回答が多く、それ以外の内容は「猫派」の方で多かった。

▶ 「犬派」と「猫派」の回答で違いが大きかったのは何かを%差でみると、犬派を基準にすると第1位「人懐っこさ」、第2位「忠誠心」、第3位「かしこさ」猫派を基準にすると第1位「気まぐれさ」、第2位「ツンデレ感」、第3位「抱き心地」であった。

< Q3で「どちらも大嫌い」を除いた（271名）が対象 >

【Q4】「犬の方が好き」または「猫の方が好き」が決め手となった理由をお知らせください。（回答はいくつでも）

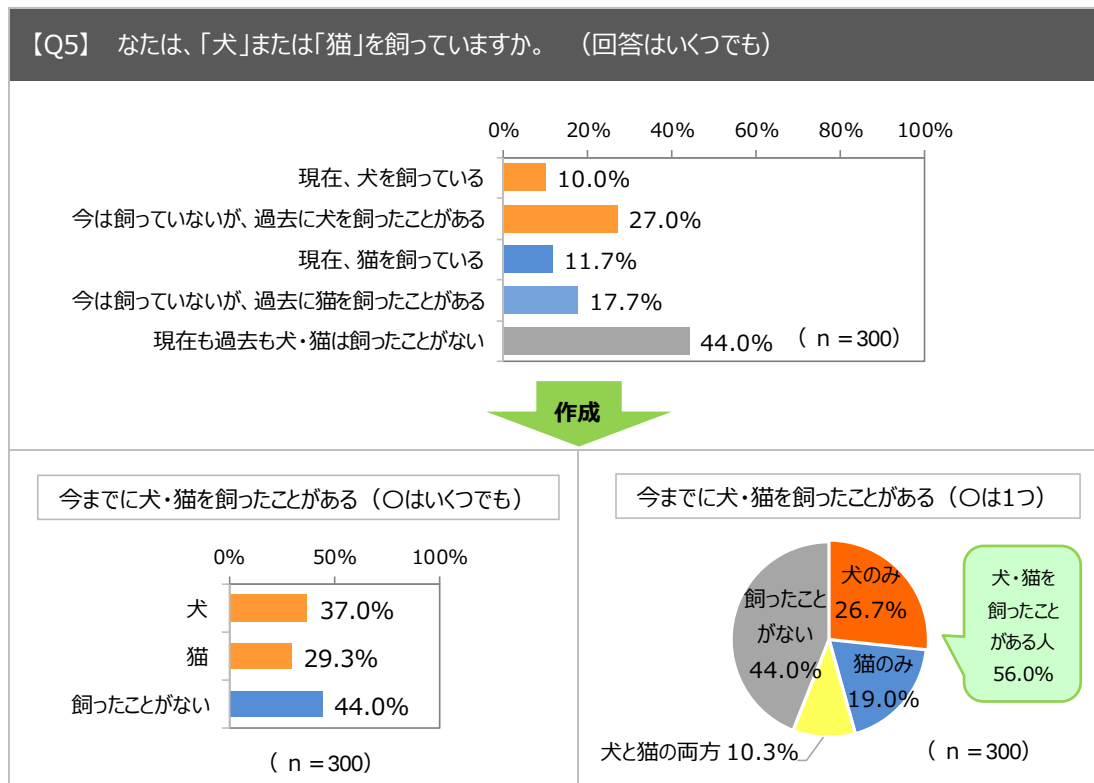


	人懐っこさ	忠誠心	かしこさ	感情表現がわかりやすい	しつけのしやすさ	なんとなく	品種の多さ	かわいらしさ	見た目	しぐさ	気まぐれさ	抱き心地	ツンデレ感	お世話のしやすさ	選ばなかった方の回答が苦手	費用のかからなさ	その他	n
犬の方が好き (n = 159)	66.7	40.3	35.2	25.8	14.5	10.7	3.1	37.1	30.2	22.6	2.5	9.4	1.9	8.2	1.9	1.3	1.9	159
猫の方が好き (n = 112)	20.5	0.9	4.5	5.4	7.1	1.8	1.8	52.7	42.9	36.6	26.8	25.9	20.5	20.5	5.4	3.6	2.7	112
%差 (犬派から猫派を引く)	46.1	39.4	30.8	20.4	7.3	8.9	1.4	-15.6	-12.7	-14.0	-24.3	-16.5	-18.6	-12.4	-3.5	-2.3	-0.8	
	差1位	差2位	差3位								差1位	差3位	差2位					

犬と猫の両方を飼ったことがある人の【犬派 or 猫派】は、「猫派」に軍配が上がる！

「犬」または「猫」を飼っているかを複数回答で聞いたところ、「現在」では「犬」が10.0%、「猫」が11.7%で「猫」を飼っている人の方が多かった。「現在・過去を含めた今までに」でみると、「犬」が37.0%、「猫」が29.3%で、「犬」を飼ったことがある人の方が多かった。なお、この結果は「犬」と「猫」の両方を飼ったことがある人（10.3%）を含む。

【犬派 or 猫派】別にみると、「犬のみ」を飼ったことがある人は「犬派」、「猫のみ」を飼ったことがある人は「猫派」、「飼ったことがない」は「どちらも大嫌い」が最も多い妥当な結果であった。【犬派 or 猫派】の選択は飼育有無が影響していることがうかがえた。その一方、「犬と猫の両方」を飼ったことがある人は「猫派」が17.0%、「犬派」が7.5%で「猫派」の方が多く、【犬派 or 猫派】は「猫派」に軍配が上がった。



（横％表）

		現在・過去含め、今までに飼ったことがある				n
		犬のみ	猫のみ	犬と猫の両方	飼ったことがない	
究極の選択	全体	26.7	19.0	10.3	44.0	300
	犬派	45.9	3.8	7.5	42.8	159
	猫派	2.7	45.5	17.0	34.8	112
	どちらも大嫌い	13.8	0.0	0.0	86.2	29

各項目を縦に見て最大値に彩色

この13.8%は、過去に飼ったことがある人のみの回答

▼独立性の検定
（カイ2乗検定）

p 値	判定	相関
0.000	【**】	0.478

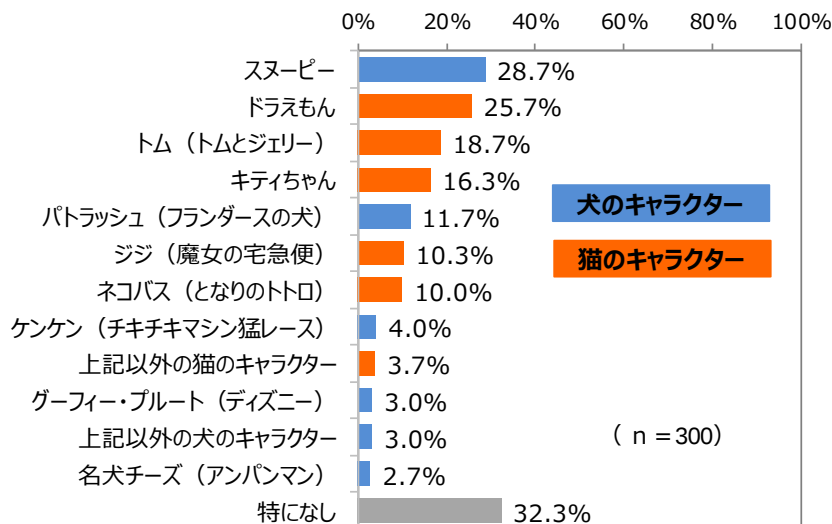
↑
クラメル連関係数

好きな「犬」のキャラクターがある人は「犬派」、好きな「猫」のキャラクターがある人は「猫派」の傾向

幼少の頃から現在にいたるまで、犬または猫のキャラクターで「好き」「好きだった」ものを複数回答で聞いたところ、「スヌーピー」が28.7%で最も多く、次に「ドラえもん」の25.7%、トム（トムとジェリー）の18.7%と続いた。

【犬派 or 猫派】別にみると、「ドラえもん」「トム（トムとジェリー）」を除くと、好きな「犬」のキャラクターがある人は「犬派」ほど多く、好きな「猫」のキャラクターがある人は「猫派」の方が多い妥当な結果であった。これより、【犬派 or 猫派】の選択は好きなキャラクターが影響していることがうかがえた。

【Q6】あなたが幼少の頃から現在にいたるまで、「好き」「好きだった」キャラクターがあればお知らせください。（回答はいくつでも）



(横%表)

並び替え: ①彩色ごと ②「全体の値」から「彩色の値」を差し引いた値の降順

		幼少の頃から現在にいたるまで「好き」「好きだった」キャラクター													n
		スヌーピー	ドラえもん	パトラッシュ	ケンケン	トム	他の犬のキャラクター	ブルート	名犬チーズ	他の猫のキャラクター	キティちゃん	ネコバス	ジジ	特になし	
全体		28.7	25.7	11.7	4.0	18.7	3.0	3.0	2.7	3.7	16.3	10.0	10.3	32.3	300
究極の選択	犬派	35.8	30.8	15.7	7.5	20.8	5.0	4.4	3.8	1.3	12.6	5.7	5.7	29.6	159
	猫派	19.6	19.6	8.0	0.0	17.0	0.0	1.8	1.8	8.0	21.4	16.1	17.9	33.0	112
	どちらも大嫌い	24.1	20.7	3.4	0.0	13.8	3.4	0.0	0.0	0.0	17.2	10.3	6.9	44.8	29

各項目を縦に見て最大値に彩色

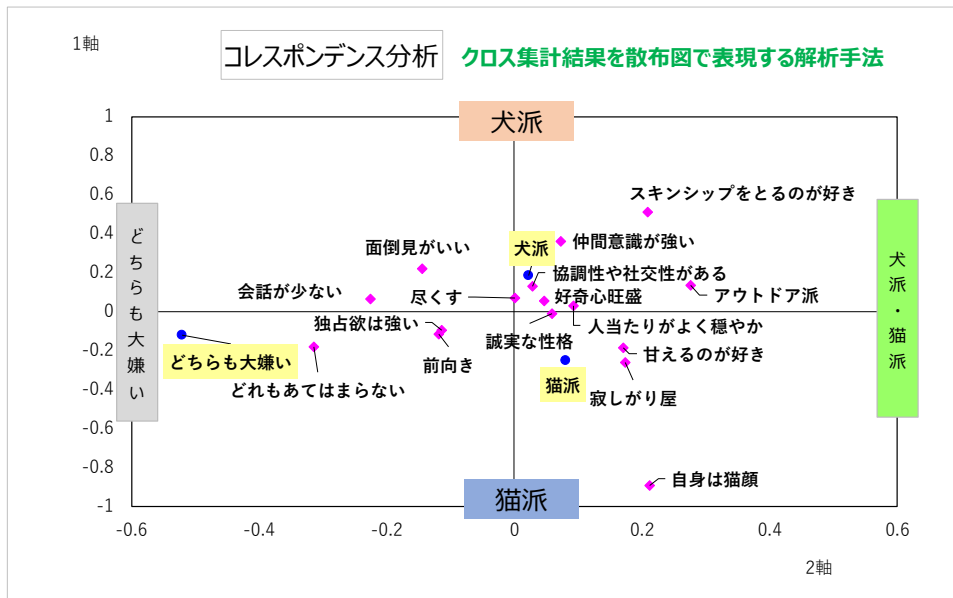
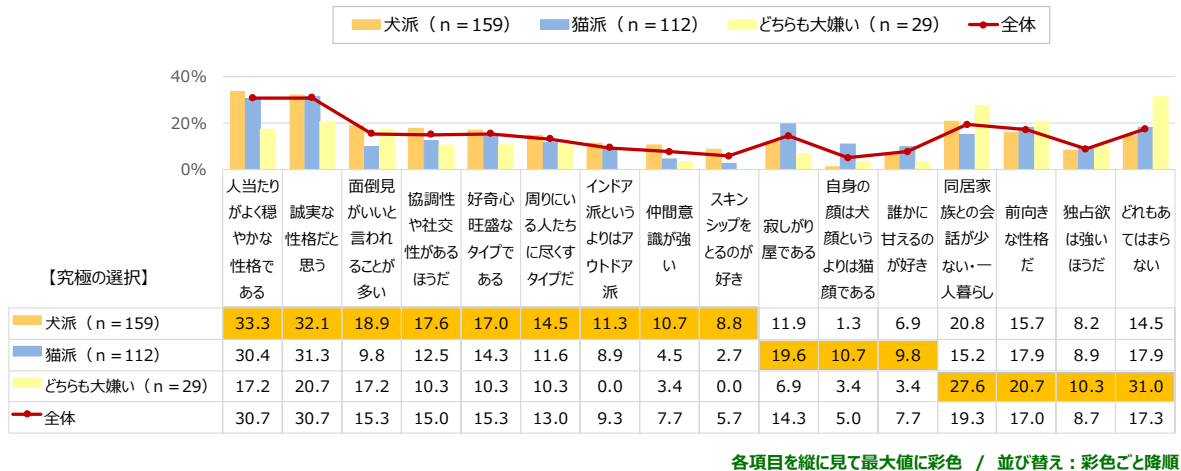
独立性の検定: p 値	0.013	0.095	0.053	0.004	0.570	0.057	0.281	0.391	0.008	0.151	0.019	0.004	0.265
独立性の検定: 判定	[*]	[]	[]	[**]	[]	[]	[]	[]	[**]	[]	[*]	[**]	[]
クラメル連関係数: 相関	0.171	0.125	0.140	0.192	0.061	0.138	0.092	0.079	0.180	0.112	0.162	0.191	0.094

犬派の人の性格の傾向は、アクティブで協調性・仲間意識・交流感が強い！ 猫派の人の性格の傾向は、寂しがり屋で、甘えるのが好き！

犬派と猫派では、人間性や性格に違いや傾向があると言われている。そこで、あらかじめ用意した内容にあてはまるかを複数回答で聞き、「犬派・猫派」別から傾向を調べた。

「犬派」ほど「人当たりがよく穏やかな性格である」「誠実な性格だと思う」「面倒見がいいと言われることが多い」「協調性や社交性があるほうだ」「好奇心旺盛なタイプである」「周りにいる人たちに尽くすタイプだ」「インドア派というよりはアウトドア派」「仲間意識が強い」「スキンシップをとるのが好き」の回答が多かった。一方、「寂しがり屋である」「自身の顔は犬顔というよりは猫顔である」「誰かに甘えるのが好き」の回答は「猫派」ほど多かった。

【Q7】 あなた自身が当てはまるものをお知らせください。（回答はいくつでも）



左記の散布図より

犬派の傾向は
アクティブで、
協調性・仲間意識・
交流感が強い
と解釈

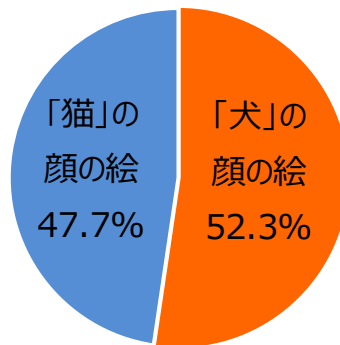
猫派の傾向は、
寂しがり屋で、
甘えるのが好き
と解釈

「犬か猫の顔の絵を描いてください」と言われて描くのは、「犬の顔」の方が多い！

「犬か猫の顔の絵を描いてください」と言われたら、どちらの絵を描くかを聞いたところ、「犬の顔」が52.3%、「猫の顔」が47.7%で「犬の顔」の方が上回った。

【犬派 or 猫派】別にみると、「犬派」ほど「犬の顔」を描く回答が多く、「猫派」ほど「猫の顔」を描く回答が多い妥当な結果が見られた。

【Q8】 今、「犬か猫の顔の絵を描いてください」と言われたら、あなたは、どちらの絵を描こうと思いますか？（回答は1つ）



(n = 300)

(横%表)

		どちらの絵を描くか		n
		犬	猫	
全体		52.3	47.7	300
究極の選択	犬派	83.0	17.0	159
	猫派	8.9	91.1	112
	どちらも大嫌い	51.7	48.3	29

各項目を縦に見て最大値に彩色

▼独立性の検定（カイ2乗検）

	p 値	判定	相関
究極の選択	0.000	[**]	0.694
年代	0.204	[]	0.103
性別	0.083	[]	0.100
婚姻有無	0.545	[]	0.035



クラメル連関係数

(横%表)

		どちらの絵を描くか		n
		犬	猫	
全体		52.3	47.7	300
年代	40代以下	44.6	55.4	74
	50代	52.1	47.9	121
	60代	58.1	41.9	105
性別	男性	56.5	43.5	177
	女性	46.3	53.7	123
婚姻有無	未婚	54.4	45.6	125
	既婚	50.9	49.1	175

各項目を縦に見て最大値に彩色

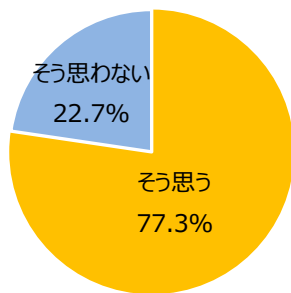
回答者全体で約8割の人が「ペットは家族の一員」と思っている！

ペットは家族の一員であるかを聞いたところ、「そう思う」が77.3%、「そう思わない」が22.7%で、「そう思う」が圧倒的に多かった。

「現在・過去に飼っているもの」別にみると、「犬のみ」「猫のみ」「犬と猫の両方」を飼ったことがある人の「そう思う」の回答は9割を超え、その中でも「犬と猫の両方」が最も多かった。一方、「そう思わない」を回答した人は「飼ったことがない人」で最も多かった。

年代別でみると、年代が高くなるにつれ、「そう思う」の回答が多い傾向が見られた。

【Q9】あなたは、ペットは家族の一員と思いますか。（回答は1つ）



(n = 300)

	n	%
そう思う	124	41.3
どちらかといえばそう思う	108	36.0
どちらかといえばそう思わない	26	8.7
そう思わない	42	14.0
合計	300	100.0

(横%表)

		ペットは家族の一員である		n
		そう思う	そう思わない	
全体		77.3	22.7	300
現在・過去に飼っているもの	犬のみ	92.5	7.5	80
	猫のみ	91.2	8.8	57
	犬と猫の両方	93.5	6.5	31
	現在も過去も飼ったことがない	58.3	41.7	132

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		ペットは家族の一員である		n
		そう思う	そう思わない	
全体		77.3	22.7	300
年代	40代以下	75.7	24.3	74
	50代	76.9	23.1	121
	60代	79.0	21.0	105
性別	男性	74.0	26.0	177
	女性	82.1	17.9	123
婚姻有無	未婚	70.4	29.6	125
	既婚	82.3	17.7	175
居住地	北海道・東北地方	71.0	29.0	31
	関東地方	80.2	19.8	111
	中部地方	78.8	21.2	52
	近畿地方	67.8	32.2	59
	四国・中国・九州地方・沖縄	85.1	14.9	47

各項目を縦に見て最大値に彩色

▼独立性の検定（カイ2乗検定）

クラメル連関係数 ↓

	p 値	判定	相関
飼ったことがあるか	0.000	[**]	0.403
年代	0.857	[]	0.032
性別	0.099	[]	0.095
婚姻有無	0.015	[*]	0.140
居住地	0.201	[]	0.141

【新設項目】 真の犬派 or 猫派

究極の選択：犬派 or 猫派【二択チャレンジ】では、「犬」「猫」が好き・嫌いの度合いを考慮せず聞いた結果である。そこで、犬または猫が好きな人のみで「犬派 or 猫派」を作成し、真の「犬派 or 猫派」の傾向、違いを調べた。

Q3 犬と猫どちらが好きか

究極の選択	n	%
犬派	159	53.0%
猫派	112	37.3%
あてはまらない	29	9.7%
全体	300	100.0%

(新設) 真の犬派 or 猫派	n	%
犬派 → 回答が「Q3 犬派」 & 「Q1 犬が好き」	113	37.7%
猫派 → 回答が「Q3 猫派」 & 「Q2 猫が好き」	92	30.7%
上記に該当しない回答	95	31.7%
全体	300	100.0%

真の「犬派 or 猫派」とのクロス集計

	犬が好きか (結合)			n		猫が好きか (結合)			n		現在・過去に飼っているか (SA)				n		どちらを描くか		n
	好き	普通	嫌い			好き	普通	嫌い			犬	猫	犬と猫	飼ったことがない			犬の顔	猫の顔	
全体	78.5	14.1	7.3	205		69.8	17.6	12.7	205		33.2	25.4	14.1	27.3	205		48.8	51.2	205
犬派	100.0	0.0	0.0	113		45.1	31.9	23.0	113		57.5	3.5	9.7	29.2	113		84.1	15.9	113
猫派	52.2	31.5	16.3	92		100.0	0.0	0.0	92		3.3	52.2	19.6	25.0	92		5.4	94.6	92

並び替え：①彩色ごと ②「全体の値」から「彩色の値」を差引いた値の降順

	幼少の頃から現在にいたるまで「好き」「好きだった」キャラクター												n
	スヌーピー	ドラえもん	スライム	パティ	キン	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	
全体	30.7	26.8	13.7	4.9	3.4	21.5	3.4	3.4	14.1	11.7	18.5	3.9	205
犬派	37.2	31.0	17.7	8.8	6.2	23.9	4.4	4.4	8.0	6.2	14.2	0.9	113
猫派	22.8	21.7	6.7	0.0	0.0	18.5	2.2	2.2	21.7	18.5	23.9	7.6	92

並び替え：①彩色ごと ②「全体の値」から「彩色の値」を差引いた値の降順

	あてはまるもの														n
	面倒見がいいと言われることが多い	スキンシップをとるのが好き	仲間意識が強い	周りにいる人たちに尽くすタイプだ	協調性や社交性がある	同居家族との会話が少ない	人当たりがよく穏やかな性格である	インドア派というよりはアウトドア派	好奇心旺盛なタイプである	自身の顔は犬顔というよりは猫顔である	寂しがり屋である	誠実な性格だと思う	誰かに甘えるのが好き	前向きな性格だ	
全体	16.6	6.8	9.3	17.1	17.1	18.0	34.6	12.7	18.5	6.3	17.1	33.2	9.3	18.0	205
犬派	22.1	10.6	12.4	19.5	19.5	20.4	36.3	14.2	19.5	1.8	14.2	31.9	8.0	16.8	113
猫派	9.8	2.2	5.4	14.1	14.1	15.2	32.6	10.9	17.4	12.0	20.7	34.8	10.9	19.6	92

真の「犬派 or 猫派」との相関

	(n = 205) 表側「犬派 or 猫派」×表頭「下記項目」 相関あり：ベスト10位を表記	クラメル 連関係数	独立性の検定	
			p 値	判定
1位	「犬か猫」「猫の顔」どちらを描くか	0.7825	0.0000	【**】
2位	今までに飼っているか (犬 / 猫 / 両方 / 飼っていない)	0.6846	0.0000	【**】
3位	猫が好きか (好き/普通/嫌い)	0.5941	0.0000	【**】
4位	犬が好きか (好き/普通/嫌い)	0.5794	0.0000	【**】
5位	自身の顔は犬顔というよりは猫顔である	0.2079	0.0029	【**】
6位	好きなキャラクター：ケンケン (チキチキマシン猛レース)	0.2043	0.0034	【**】
7位	好きなキャラクター：ジジ (魔女の宅急便)	0.1966	0.0049	【**】
8位	好きなキャラクター：ネコパス (となりのトトロ)	0.1900	0.0065	【**】
9位	好きなキャラクター：上記以外の猫のキャラクター	0.1727	0.0134	【*】
10位	好きなキャラクター：上記以外の犬のキャラクター	0.1697	0.0151	【*】

「犬派」「猫派」
に影響がある項目
(関連がある)

今月のレベルアップ ～ 数量化3類～

数量化3類は、説明変数相互の関係を調べ、潜在変数（新しい概念の要素）を導く関係式を作成します。関係式から次のことを明らかにします。

- ・ カテゴリー相互の類似度を明らかにする
- ・ 個体相互の類似度を明らかにする
- ・ 潜在変数のネーミングと解釈

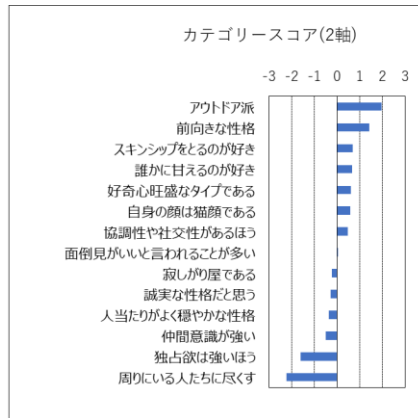
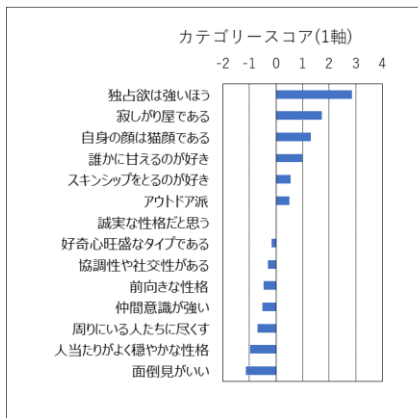
今回は、潜在変数のネーミングと解釈を説明します。

【目的】14個の性格を数量化3類で要約する。要約したものを使って「犬派 or 猫派」の特徴を見極める。

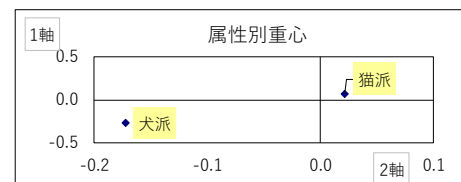
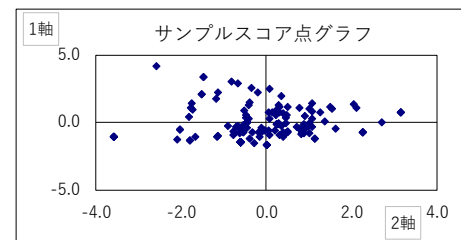
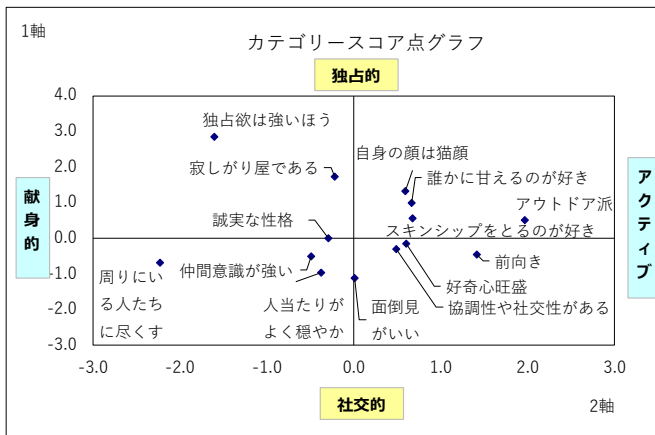
▼「あてはまるもの：全体（グレー彩色を除く）」について、「数量化3類」を適用した。

(横%表)	あてはまるもの（○はいくつでも）																n
【真の選択】	面倒見 がいいと 言われ ることが 多い	スキン シップを とるのが 好き	仲間意 識が強 い	周りに いる人た ちに尽く すタイプだ	協調性 や社交 性がある ほうだ	人当たり がよく穏 やかな 性格で ある	インドア 派という よりはア ウトドア 派	好奇心 旺盛な タイプで ある	自身の 顔は犬 顔という よりは猫 顔である	寂しがり 屋である	誠実な 性格だと 思う	誰かに 甘えるの が好き	前向き な性格だ	独占欲 は強い ほうだ	同居家 族との 会話が 少ない・ 一人暮 らし	どれもあ てはまら ない	
全体	16.6	6.8	9.3	17.1	17.1	34.6	12.7	18.5	6.3	17.1	33.2	9.3	18.0	9.8	18.0	12.7	205
犬派	22.1	10.6	12.4	19.5	19.5	36.3	14.2	19.5	1.8	14.2	31.9	8.0	16.8	9.7	20.4	9.7	113
猫派	9.8	2.2	5.4	14.1	14.1	32.6	10.9	17.4	12.0	20.7	34.8	10.9	19.6	9.8	15.2	16.3	92

▼「算出結果」：「カテゴリースコア点グラフ」を見て、「ネーミング（潜在変数を作成）」する



数量化3類を使って、数多くある変数（データ）を要約します。
真の犬派 or 猫派のデータ205名のうち、165件を用いて解析を行いました。



▼ 数量化3類で算出された「サンプルスコア（各個人の得点）」にクラスター分析を適用して各個人を分類する。（今回は4群を指定）

数量化3類の結果

サンプルスコア表

No	1軸	2軸
1	0.0122	-0.4633
2	-1.6621	0.0204
⋮	⋮	⋮
165	-0.0132	1.0092

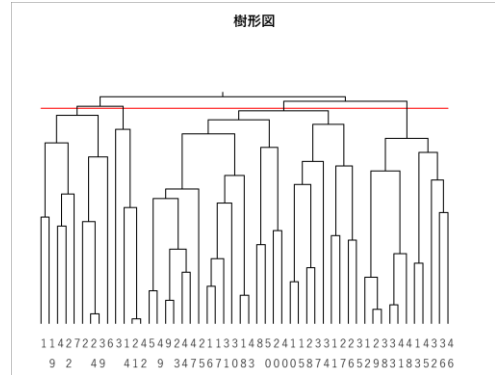
クラスター分析の結果

サンプル・クラスター表

No	クラスターNo.
1	2
2	2
⋮	⋮
165	1

↑

左記のデータにクラスター分析を行った結果



▼ 数量化3類で算出した「カテゴリースコアの点グラフ」でネーミングをつけられない場合は、「クラスター分析で算出した群」と「あてはまるもの」をクロス集計し、彩色がある項目の内容からネーミングをする。

		あてはまるもの（○はいくつでも）																n
		前向きな性格だ	好奇心旺盛なタイプである	協調性や社交性があるほうだ	インドア派というよりはアウトドア派	誠実な性格だよりはあると思う	誰かに甘えるのが好き	スキンシップをとるのが好き	人当たりがよく穏やかな性格である	面倒見がよいと言われることが多い	仲間意識が強い	独占欲は強いほうだ	寂しがり屋である	自身の顔は犬顔というよりは猫顔である	周りに人たちに尽くすタイプだ	同居家族との会話が少ない・一人暮らし	どれもあてはまらない	
ネーミング	全体	18.0	18.5	17.1	12.7	33.2	9.3	6.8	34.6	16.6	9.3	9.8	17.1	6.3	17.1	18.0	12.7	205
アクティブ	→ 1群	43.9	40.2	37.8	30.5	45.1	17.1	13.4	37.8	20.7	9.8	6.1	23.2	11.0	8.5	17.1	0.0	82
社交的	→ 2群	1.9	7.4	7.4	0.0	44.4	5.6	3.7	64.8	27.8	18.5	0.0	9.3	3.7	22.2	13.0	0.0	54
独占的	→ 3群	0.0	5.9	0.0	5.9	29.4	11.8	5.9	17.6	0.0	0.0	88.2	64.7	11.8	23.5	11.8	0.0	17
献身的	→ 4群	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	12
	該当しない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.0	65.0	40

表側項目内を縦に見て最大に彩色

▼ ネーミングした「タイプ」と「真の犬派 or 猫派」のクロス集計を行い、傾向を把握する。

		タイプ（○は1つ）				n
		社交的	献身的	アクティブ	独占的	
全体		32.7	7.3	49.7	10.3	165
真の選択	犬派	35.9	9.8	46.7	7.6	92
	猫派	28.8	4.1	53.4	13.7	73

表側項目内を縦に見て最大に彩色

真の犬派の特徴

「社交的」「献身的」

真の猫派の特徴

「アクティブ」「独占的」

「犬派」と「猫派」では、人間性や性格に違いがあると言われています。

今回の解析（犬・猫が好きな人のみの「真の犬派 or 猫派」）では、上記の傾向となりました。

サマリーレポートはこちらを参照ください。

<https://istat.co.jp/investigation/2024/04/result>

統計分析研究所 株式会社アイスタットについて

【株式会社アイスタット（統計分析研究所）会社概要】

◇所在地 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-22-26 パラドール東高円寺3F（旧YTビル）

◇設立 2011年6月2日

◇代表者 代表取締役社長 志賀 保夫 / 代表取締役会長 菅 民郎

◇事業内容 株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。

◆本調査・弊社事業などに関するお問合せ先◆

統計分析研究所 株式会社アイスタット <https://istat.co.jp/>

総務部 橋本 有子 (somu@istat.jp) TEL: 03-3315-7637/FAX: 03-3315-7660

サービスのご案内

株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。「わかりやすい統計学」をモットーに、8つのコア・サービスをみなさまにご提供いたします。

